

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【公開番号】特開2001-197610(P2001-197610A)

【公開日】平成13年7月19日(2001.7.19)

【出願番号】特願2000-5949(P2000-5949)

【国際特許分類第7版】

B 6 0 L 15/00

B 6 1 C 17/12

【F I】

B 6 0 L 15/00 B

B 6 1 C 17/12 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月10日(2004.3.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2つの回転角度センサにより、ハンドルの「力行」、「中立」、「ブレーキ」の各ノッチに相当した信号を出力する主幹制御器において、前記ハンドルの「中立」を検知する位置センサを設け、該「中立」を検知する前記位置センサが前記ハンドルの「中立」を検知した時点において、当該「中立」に相当した信号を検出していない前記回転角度センサの出力を開放させるようにしたことを特徴とする主幹制御器。

【請求項2】

2つの回転角度センサにより、ハンドルの「力行」、「中立」、「ブレーキ」の各ノッチに相当した信号を出力する主幹制御器において、前記2つの回転角度センサの出力信号を比較し、両者の信号が異なったときには、よりブレーキ側の信号を選択して出力させることを特徴とする主幹制御器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

図4は図3で示したノッチ判別部8aにおける回転角度センサからの角度出力信号1によるノッチ判別について示したものである。検出ノッチ信号から該当するノッチ判別をするには、2°のヒステリシスを持って判別する。すなわち、「N」から「P1」に進む場合は、真のノッチ位置「N」から「B1」方向へ6°回転したところでノッチ判別部8a出力すなわち検出ノッチは「N」から「P1」に変化する。同様に、「P1」から「N」に戻る場合は、真のノッチ位置「N」から4°のところまで戻ってきた時点でノッチ判別部8a出力すなわち検出ノッチは「P1」から「N」に変化する。このヒステリシスを設けているのは、ノッチの境界付近におけるチャタリング発生を防止するためである。